

# 株主の皆様へ

## 第78期 中間報告書

平成28年4月1日から平成28年9月30日まで

# TOMOKU

Packaging Innovation

証券コード 3946

株式会社トーモク



**TOMOKU**

## 株主の皆様へ

---



株主の皆様には平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。当社第78期第2四半期連結累計期間（平成28年4月1日から平成28年9月30日まで）の事業の概況につきまして、ご報告申し上げます。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境に改善傾向が見られるものの、個人消費は堅調とは言えず、英国のEU離脱問題に起因する世界経済への悪影響が懸念されるなど景気の先行きは不透明な状況で推移しました。

その中で当社グループの当第2四半期連結累計期間の売上高は684億42百万円（前年同期比0.3%減）、経常利益は13億45百万円（同265.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は3百万円（前年同期の親会社株主に帰属する四半期純損失3百万円）となりました。

セグメント別の業績は次ページに記載の通りでございます。

なお、当社は取締役会において、資本効率の向上と経営環境の変化に対応するため、自己株式の取得を決議し、当第2四半期連結累計期間において7,966千株、23億40百万円の自己株式を取得いたしました。

通期では連結売上高1,590億円、連結経常利益70億円、親会社株主に帰属する当期純利益34億円を見込んでおります。

以上ご報告の通りでございますが、中間配当金につきましては1株につき3円とさせていただきます。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援とご協力を賜りますよう心からお願い申し上げます。

平成28年12月

代表取締役社長 齋藤 英男

# セグメント業績

## 段ボール

売上高 **424億33百万円** (前年同期比3.4%減)  
営業利益 **31億52百万円** (同50.6%増)

段ボールの需要は、食品向けや通販・宅配向けなどの需要増もあり、生産量は前年同期を上回る推移を見せております。

当社グループの段ボール生産量は、天候不順等の影響もあり前年同期並みに留まりました。

長野工場は、物流対策やBCP対策などの解決をはかり、長野地区の段ボール需要に対応するため、最新鋭の貼合機、加工機を装備し、期初から稼働しました。

また、厚木工場では、本年5月に加工の生産能力増強と品質強化を目的に最新鋭の加工機に更新しました。千葉紙器工場においても、高性能印刷機に更新し、品質の強化と生産性の大幅な向上をはかり、高度で多様化したお客様のニーズにお応えしております。

当社グループは、日頃から生産力の強化や品質面での一級品作りを積極的に推進し、更なる内部コストの削減を進めるとともに、その基盤となる新技術の開発、労働環境の改善、人材育成にも前向きに取り組んでおります。



長野工場

## 住宅

売上高 **120億20百万円** (前年同期比10.9%減)  
営業損失 **23億21百万円** (前年同期は営業損失24億60百万円)

スウェーデンハウス(株)は、「オリコン日本顧客満足度ランキング」(注文住宅部門) 2年連続総合No.1の年間アピール、スウェーデンに学んだライフスタイル提案「Bara vara」を発表し、「時を忘れて、好きなことを楽しむ」住環境を目指した平屋、セカンドハウスの受注促進、ZEH対応商品「HUS ECO ZERO 2016 LIMITED EDITION」の発表等を通して集客対策の強化、顧客別ラインアップの強化、紹介受注増大等販売強化に取り組んでおります。



## 運輸倉庫

売上高 **139億87百万円** (前年同期比24.6%増)  
営業利益 **8億40百万円** (同17.2%増)

運輸倉庫においては、熊本地震や北海道の台風等による影響がありましたが、トーンサービス(株)が本年3月の長野工場の稼働に伴い長野営業所を開設したほか、トーンロジテム(株)が本格稼働となり、売上高は13,987百万円(前年同期比24.6%増)となりました。



# 財務ハイライト (連結)

●売上高 .....

**684**億**42**百万円 (前年同期比 **0.3%**減)

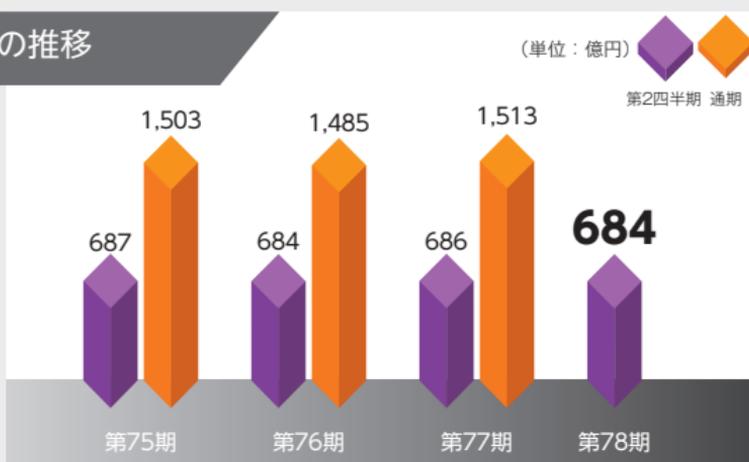
●経常利益 .....

**13**億**45**百万円 (前年同期比 **265.7%**増)

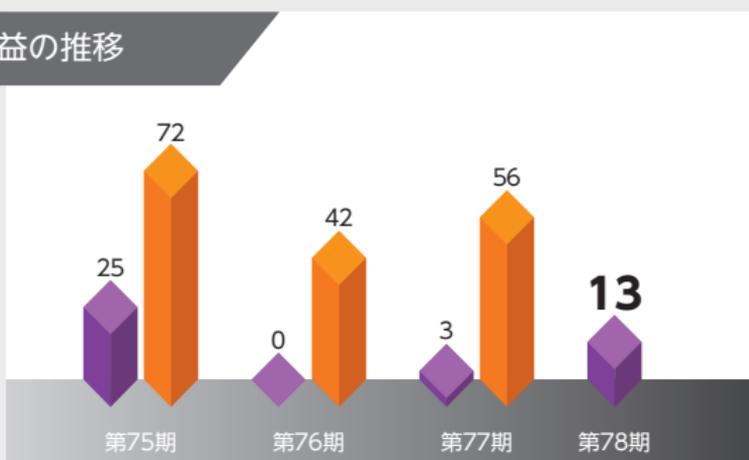
●親会社株主に帰属する四半期純利益 .....

**3**百万円 (前年同期 **▲3**百万円)

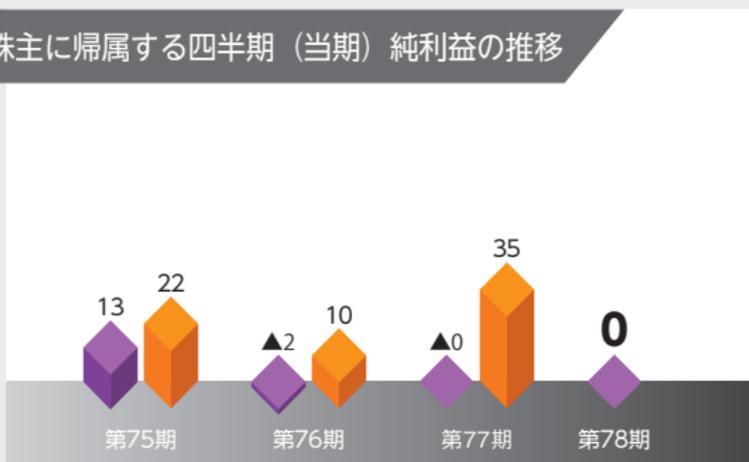
## 売上高の推移



## 経常利益の推移



## 親会社株主に帰属する四半期 (当期) 純利益の推移



# 四半期連結財務諸表 (要旨)

## 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

区 分	当第2四半期連結会計期間末 (平成28年9月30日現在)	前連結会計年度末 (ご参考) (平成28年3月31日現在)
<b>資産の部</b>		
流動資産	52,465	55,761
固定資産	79,536	84,078
有形固定資産	67,832	68,785
無形固定資産	292	335
投資その他の資産	11,412	14,957
<b>資産合計</b>	<b>132,001</b>	<b>139,839</b>
<b>負債の部</b>		
流動負債	39,634	39,030
固定負債	41,909	45,847
<b>負債合計</b>	<b>81,544</b>	<b>84,877</b>
<b>純資産の部</b>		
株主資本	47,982	50,536
資本金	13,669	13,669
資本剰余金	11,234	11,138
利益剰余金	26,104	26,414
自己株式	△ 3,027	△ 685
その他の包括利益累計額	2,055	2,241
非支配株主持分	420	2,184
<b>純資産合計</b>	<b>50,457</b>	<b>54,961</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>132,001</b>	<b>139,839</b>

## 四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

区 分	当第2四半期連結累計期間 (平成28年4月1日から 平成28年9月30日まで)	前第2四半期連結累計期間 (平成27年4月1日から 平成27年9月30日まで)
<b>売上高</b>	68,442	68,663
売上原価	56,009	56,897
<b>売上総利益</b>	12,432	11,765
販売費及び一般管理費	11,116	11,816
<b>営業利益</b>	<b>1,315</b>	<b>△ 50</b>
営業外収益	571	638
営業外費用	541	220
<b>経常利益</b>	<b>1,345</b>	<b>367</b>
特別利益	360	1,613
特別損失	289	1,426
<b>税金等調整前四半期純利益</b>	<b>1,416</b>	<b>554</b>
法人税、住民税及び事業税	1,921	1,333
法人税等調整額	△ 621	△ 976
四半期純利益	116	197
非支配株主に帰属する四半期純利益	112	200
<b>親会社株主に帰属する四半期純利益</b>	<b>3</b>	<b>△ 3</b>

# 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月中
基準日	3月31日 その他必要ある場合はあらかじめ公告いたします。
配当金支払株主確定日	期末配当金につきましては3月31日、中間配当金の支払いを行う場合は9月30日といたします。
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 電話 0120-232-711 (通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所、札幌証券取引所
公告掲載新聞	日本経済新聞

(ご注意)

1. 株主様の住所変更、配当金の振込みのご指定、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に登録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にでもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

## 株式会社 トーモク

TOMOKU CO., LTD.

〒100-0005 東京都千代田区丸の内2-2-2 丸の内三井ビル4階

TEL.03-3213-6811 FAX.03-3213-2825

<http://www.tomoku.co.jp/>